

2023(令和5)年度 入学式式辞

春爛漫の今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者の皆様をお迎えして、ここに令和5年度の入学式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。

ただいま、164名の本科入学生、第4学年への編入生1名、モンゴル及びラオスからの留学生2名ならびに専攻科に入学する40名、以上207名の入学を許可いたしました。

新しく入学あるいは進学された皆さん、ご入学、おめでとうございます。晴れの門出を前に、新しい生活に少し不安を抱きながらも、今日の日が待ち遠しかった人が多いのではないかと思います。呉高専は、皆さんを心から歓迎いたします。

現在、世界では気候変動、食料危機、エネルギー問題、新型コロナウイルス感染症、国際紛争の拡大など地球規模の深刻な問題に直面しています。世界は混迷の度を深め、数年前には予想もつかなかったことが次々に起こり、我々はこれまでに構築した国際平和や社会・経済構造の脆弱さと言ったものを目の当たりにしています。日本ではさらに、少子高齢化、労働者人口の減少、多発する自然災害などにも直面しています。この世界の状況には、深く心が痛みます。

かつて世界に冠たる経済大国・技術大国と言われた日本は、いまこそ全国民があらゆる分野の知を集めて、課題解決のために取り組む必要があります。そのためには確固たる基礎学力をベースに知識を総合化し、地球的視点でものごとの本質を考えることができる優秀な技術者が不可欠です。そして、このような技術者の育成の場である呉高専には多くの期待が集まっています。皆さんはこれから5年間いろいろな経験をする機会に恵まれます。しっかり勉強すれば高専を卒業するときには企業から引く手あまたになると思います。また卒業後に専攻科に入学し、さらにその上の全国の大学院に進学することもできます。高専卒の人材はとて優秀だと言われており、私の身近にも様々な分野で卓越した仕事をされている、高専の卒業生が多数おられます。つまり呉高専に入学した皆さんは、素晴らしい可能性を手にしたということです。

私からは、これから踏み出そうとする未知の世界へ、大きな期待をもっておられる皆さんに、次のエールを贈りたいと思います。

「Realize Your Dream！」これは本校が掲げているキャッチフレーズです。直訳すると「君の夢を実現しろ」ですが、本校では「君の未来を共に創る」と訳しています。私はこの言葉が実に素晴らしい言葉だと思います。夢というのは是非そうなってほしい、あるいはそんなことが起こってほしいという願望ですが、願望がなければ何も始まりません。しかし、夢を持つこと自体がそれほど簡単ではないので、多くの皆さんは、まだ自分の夢を描けていないのではないのでしょうか。もしすでに夢を持っている人がいたら、それは素晴らしいことです。しかし、その夢が人生の中で変わっていく可能性もあります。是非、学生生活を通して、

自分が将来こんな事をしたい、こうなりたいという夢を見つけ、未来像を描けるように、考えてほしいと思います。

「夢の実現」という言葉に関しては、私自身も真摯に向き合い、できることやすべきことを模索しています。私は昨年4月から本校の校長となりましたが、長年に亘り大学教員として特に電力・エネルギー関係の仕事をしてきましたので、昨年はまずこの分野で高専と大学との共同研究体制を構築しました。そして、そこに高専の学生が参画し、そのまま大学院に進学できる新しい入試形態について、本年1月に広島大学先進理工系科学研究科と協定の調印を行いました。本年度はこの取り組みを他の分野にも広げ、ここにいる全員が恩恵を受けられることを目指していきたいと思います。また、さらに現在進めている共同研究を拡大し、高専・大学・企業・自治体がまとまって協力し、世界・日本のエネルギー問題や防災など地域の課題解決に取り組むプロジェクトを構築しようとしています。さらに、今年はアントレプレナーシップ教育と呼ばれる、自ら課題を発見し解決する実践的な高専教育の取り組みを国が推進しており、本校にも大きな予算が付き教育環境の整備に充てられることになりました。これらは皆さんが将来イノベーションの担い手になるための取り組みです。このような一連の取り組みを有機的に組み合わせ、呉高専が持つ力を最大限に発揮して、呉の地から世界に発信していくことも目指します。

これからは、我々教職員一同で皆さんを育て、産業界や大学、地元の方々と連携しながら、本校の発展に寄与してまいります。皆さんの可能性を最大限に拡大できる、そういう環境を提供できるように頑張りたいと思っています。

さて、呉高専は恵まれた環境にあると思います。呉の地は、かつては東洋一の技術力を有し、戦艦大和の建造が有名です。当時の高い技術が各所に伝承され、技術立国としての日本の立場を確立させたイノベーションの地であると思っています。瀬戸内の気候は温暖であり、交通のアクセスもほどほどによく、キャンパスは広々としています。皆さんにはこの環境をうまく利用して、夢を描き、夢に向かって、自らいろいろな取り組みをしてほしいと期待しています。皆さんの未来をこのキャンパスで育み、夢の実現に邁進していただければと思います。

最後に我々教職員は、皆さんの可能性が最大限に発揮されるよう全力でサポートしますので、皆さんは己の可能性を信じて、己を磨いていただきたい。このことを祈念して、式辞といたします。

令和5年4月4日
呉工業高等専門学校長
餘利野直人